

アイルランドと英国との歴史的関係

年	出来事	説明
1155	ローマ法皇（英国人）が英国王ヘンリー2世に「アイルランド統治権」を与え、遠征を委嘱する教皇勅書をだした。	法皇はアイルランドを攻略させて宗教改革を実現したかった。ヘンリーにも攻略の気持ちがあり法皇の許可を必要とした。
1156		
1157		
1158		
1159		
1160		
1161		
1162		
1163		
1164		
1165		
1166	レンスター王のマクマローが国外に放逐され、ヘンリーに援助を求める。	レンスターは、アイルランドの中東部地方。
1167	マクマローとノルマン騎士団がレンスターに攻め込むも敗退。	ストロングボウがレンスター王の継承権を与えられて参戦。
1168		
1169	マクマローが再び攻め込み、レンスター王に復権。	参戦したノルマン軍は、ウェールズの貴族や騎
1170	マクマローとノルマン軍がアイルランド南部を支配。	レンスターのみならずアイルランド全土へ向け進軍。
1171	マクマロー死去、ストロングボウがレンスター候となる。ストロングボウ牽制するため、ヘンリーがアイルランドに上陸して全土を支配下に置く。	ヘンリーの上陸後、ストロングボウはレンスターをヘンリーに献上。
1172	ダブリン憲章をヘンリーが裁可	アイルランドで最初の市政憲章
1173		
1174		
1175	ウィンザー条約。アイルランド王オコナーがコノートの支配権と引き替えに、ヘンリーの宗主権を認める内容。	オコナーはアイルランドの上王（high king）。この条約により、平野部はノルマン人、それ以外のところはアイルランド人の支配するところ

1176		
1177	ヘンリーがアイルランド卿としての権利を末子のジョンに譲る。	ヘンリーもジョンもウィンザー条約を無視して、アイルランドをノルマン貴族に分割して与えていった。アイルランドの植民地化。
1178		
1179		
1180		
1181		
1182		
1183		
1184		
1185		
1186		
1187		
1188		
1189		
1190		
1191		
1192		
1193		
1194		
1195		
1196		
1197		
1198		
1199	ジョンが英国王になり、アイルランド王も兼務。	この後条約に反して3つの候国の所領を没収
1200		
1201		
1202		
1203		
1204		
1205		
1206		

1207

1208

1209

1210

ジョン王がダブリン城を建設。アイルランドを7つの州と6つの特別行政地区に分けて支配。アイルランド諸侯は、臣従を誓う。

これによりアイルランドの「群雄割拠の戦国時代」はいったん終結。特別行政地区にはある程度の自治権が認められていた。

1211

1212

1213

1214

1215

1216

1217

1218

1219

1220

1221

1222

1223

1224

1225

1226

1227

1228

1229

1230

1231

1232

1233

1234

1235

1236

1237

1238		
1239		
1240		
1241		
1242		
1243		
1244		
1245		
1246		
1247		
1248	ダブリンに王認常設裁判官団を設立	
1249		
1250		
1251	ダブリン貨幣鑄造所開設	
1252		
1253		
1254		
1255		
1256		
1257	クレドランの戦い	オドンネル一族が植民者たちに大勝
1258	諸侯がオニールをアイルランド王に立てる。	この後フランスとの戦争により、アイルランドにおける英国の影響力が低下、土着の諸侯は失地回復をはかる。
1259		
1260	ダウンの戦い	オニール敗死
1261	キャランの戦い	ケルト系アイルランド人たちが植民者たちに大
1262	アイルランド王侯、ノルウェー王に上王の地位を約	英人追放の援助が条件
1263		
1264		
1265		
1266		
1267		
1268		

1269
1270
1271
1272
1273
1274
1275
1276
1277
1278
1279
1280
1281
1282
1283
1284
1285
1286
1287
1288
1289
1290
1291
1292
1293
1294
1295
1296
1297
1298
1299
1300
1301

ダブリン議会開設

1302
1303
1304
1305
1306
1307
1308
1309
1310
1311
1312
1313
1314
1315
1316
1317
1318
1319
1320
1321
1322
1323
1324
1325
1326
1327
1328
1329
1330
1331
1332
1333
1334

1335
1336
1337
1338
1339
1340
1341
1342
1343
1344
1345
1346
1347
1348
1349
1350
1351
1352
1353
1354
1355
1356
1357
1358
1359
1360
1361
1362
1363
1364
1365
1366
1367

百年戦争（英仏）

キルケニー法

アイルランド語，慣習やしきたりを禁止

1368
1369
1370
1371
1372
1373
1374
1375
1376
1377
1378
1379
1380
1381
1382
1383
1384
1385
1386
1387
1388
1389
1390
1391
1392
1393
1394
1395
1396
1397
1398
1399
1400

マクマローがレンスター王に復権

英国王リチャードが来島してマクマロー軍を撃破
リチャード英国へ帰還

リチャード再上陸。英国ではヘンリーが王位を篡奪

アイルランド諸侯全員がリチャードに忠誠を誓

1401
1402
1403
1404
1405
1406
1407
1408
1409
1410
1411
1412
1413
1414
1415
1416
1417
1418
1419
1420
1421
1422
1423
1424
1425
1426
1427
1428
1429
1430
1431
1432
1433

1434
1435
1436
1437
1438
1439
1440
1441
1442
1443
1444
1445
1446
1447
1448
1449
1450
1451
1452
1453
1454
1455
1456
1457
1458
1459
1460
1461
1462
1463
1464
1465

百年戦争終わる

薔薇戦争

ヨーク公, アイルランド管領の地位を剥奪される
ヨーク公, アングロ・アイリッシュ議会で「アイル
ランドは, 英国のいかなる特別法にも拘束されな

1466
1467
1468
1469
1470
1471
1472
1473
1474
1475
1476
1477
1478
1479
1480
1481
1482
1483
1484
1485
1486
1487
1488
1489
1490
1491
1492
1493
1494
1495
1496
1497

マンスターで反乱

薔薇戦争終わる

ポインティングズ法施行

英国王の認可なしに議会を開いたり立法行為を行うことを禁止。

1498
1499
1500
1501
1502
1503
1504
1505
1506
1507
1508
1509
1510
1511
1512
1513
1514
1515
1516
1517
1518
1519
1520
1521
1522
1523
1524
1525
1526
1527
1528
1529
1530

ヘンリー8世英国王になる

1531		
1532		
1533		
1534	絹衣のトーマスの反乱，英国教会設立	
1535		
1536	ダブリン議会 国王至上権制定 宗教改革	プロテスタントへ
1537		
1538		
1539		
1540		
1541	アイルランド議会，ヘンリー8世をアイルランド王に推戴	ヘンリーは英国王の中で初めてアイルランドを名実ともに支配。以降アイルランドは英国総督の直接支配下となる
1542		
1543		
1544		
1545		
1546		
1547		
1548		
1549		
1550		
1551		
1552		
1553	メアリー女王，カトリック教を復活	
1554		
1555		
1556		
1557		
1558	エリザベス1世，国教会を確立	
1559		
1560		
1561	オニールの反乱	

1562
1563
1564
1565
1566
1567
1568
1569
1570
1571
1572
1573
1574
1575
1576
1577
1578
1579
1580
1581
1582
1583
1584
1585
1586
1587
1588
1589
1590
1591
1592
1593
1594

マンスターで反乱

トリニティ・カレッジ創設

エリザベス1世, アイルランドの英国化促進の

1595 オニールの反乱

1596

1597

1598

1599

1600

1601 スペイン軍上陸，オニールほかの連合軍が英国軍に敗れる

1602

1603 ジェームズ1世即位。オニール降伏。英国法全島で施

1604

1605

1606

1607

1608

1609

1610 イングランド，スコットランドから植民者がアルス

1611

1612

1613 アイルランド議会招集

1614

1615

1616

1617

1618

1619

1620

1621

1622

1623

1624

1625 英，スペイン開戦

1626 チャールズ1世，アイルランド人に譲歩

戦費捻出のため

1627	英仏戦争	
1628		
1629		
1630		
1631		
1632		
1633		
1634		
1635		
1636		
1637		
1638		
1639		
1640		
1641	カトリックによるプロテスタント虐殺	
1642		
1643		
1644		
1645		
1646		
1647		
1648		
1649	清教徒革命	
1650	クロムウェル軍，全島を制服完了	
1651		
1652	アイルランド入植法制定	クロムウェル派による土地収奪開始
1653		
1654		
1655		
1656		
1657		
1658		
1659		

1660	チャールズ2世, ダブリンで王位宣言	航海条例, 英アイルランドを一体として適用
1661		
1662		
1663		
1664		
1665		
1666		
1667		
1668	カトリックのジェームズ2世即位	
1669		
1670		
1671		
1672		
1673		
1674		
1675		
1676		
1677		
1678		
1679		
1680		
1681		
1682		
1683		
1684		
1685		
1686		
1687		
1688	宮廷革命, オレンジ公を国王に推戴	ジェームズ2世は仏へ亡命 オレンジ公はウィリアム3世として英国王に, 妻のメアリー2世はイングランド・スコットラ ンド, アイルランドを束ねる女王となる
1689	ジェームズ2世, アイルランド上陸	
1690	ボイン川の戦い オレンジ公勝利	

1691	リマリック条約, プロテスタントの優位確定
1692	
1693	
1694	
1695	異教徒刑罰法によるカトリックの弾圧始まる。
1696	
1697	
1698	
1699	
1700	
1701	
1702	
1703	
1704	
1705	
1706	
1707	
1708	
1709	
1710	
1711	
1712	
1713	
1714	
1715	
1716	
1717	
1718	
1719	
1720	英国議会 アイルランド立法権を完全に掌握
1721	
1722	
1723	

1724
1725
1726
1727
1728
1729
1730
1731
1732
1733
1734
1735
1736
1737
1738
1739
1740
1741
1742
1743
1744
1745
1746
1747
1748
1749
1750
1751
1752
1753
1754
1755
1756

カトリックの選挙権がなくなる

1757	
1758	
1759	
1760	ジョージ3世即位
1761	マンスターで白衣党の乱
1762	
1763	
1764	
1765	
1766	
1767	
1768	
1769	
1770	
1771	
1772	
1773	
1774	
1775	
1776	米国独立宣言
1777	
1778	
1779	
1780	
1781	
1782	
1783	
1784	
1785	
1786	
1787	
1788	
1789	仏革命

1790		
1791	ユナイテッド・アイリッシュメン協会設立	
1792		
1793	仏，英国に宣戦布告，カトリック救済法	救済法はアイルランドを敵にしないための懐柔
1794		
1795	オレンジ党結成	
1796	仏艦隊アイルランドに来るも引き返す	
1797		
1798	ユナイテッド・アイリッシュメン，レンスターで反乱。仏艦隊，英艦隊に撃破される。	アイルランドでの反乱は終結
1799		
1800	英アイルランド連合法制定	
1801	英アイルランド連合法施行，アイルランド議会消滅	アイルランドは英国に併合される
1802		